

1. 大阪府環境保全基金の残額等

		金額 (単位:円)	備 考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	1,780,596,349	
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	1,580,596,349
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	505,198	
③	その他収入	5,698,967	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	4,420,515	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	1,782,379,999	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	1,582,379,999
		うち、負担附寄附金等	0

2. 保有割合

※4億円を下回る取崩はないため、地域環境保全基金としては運用型

	次年度の基金類型	運用型	金額 (単位:円)	備 考
⑧	基金運用益 (次年度見込額)		505,198	
⑨	事業費 (次年度見込額)		49,628,000	
⑩	保有割合		1%	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費（次年度見込額）
 取崩型：基金残高÷事業費（次年度から終了年度までの見込額）

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等				
1	協働による環境活動の推進に資する事業	887,168		887,168		24,965,000	230,099,000
2	環境活動を担う人材の育成に資する事業	0		0		20,594,000	231,100,000
3	暮らしやすく快適な都市環境の創造に資する事業	3,533,347		3,533,347		4,069,000	428,600,000
4		0					
5		0					
6		0					
7		0					
8		0					
9		0					
10		0					
11		0					
12		0					
13		0					
14		0					
15		0					
合 計		4,420,515	0	4,420,515		49,628,000	889,799,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	指標① 2020年度までに温室効果ガス排出量を2005年度比で7%削減する。(電気の排出係数を2012年度で固定) 指標② 過去1年間の間に、地域における環境保全のための取組みに参加したことがある割合を増加させる。
成果実績	①2005年度比で3.1%増加 (2017年度) ②16.8% (2016.9)⇒10.8%(2020.8)
目標値	①2005年度比で7.0%削減(2020年度) ②増加させる(2020年度)
達成度	①-44.3%の達成度(2017年度) ②16.8% (2016.9)より減少しているが、継続して増加をめざす。

令和2年度 事業報告書

事業名	協働による環境活動の推進に資する事業	新規・継続区分	継続
事項名	同	開始年度	概要欄に別記
担当部署	大阪府環境農林水産部エネルギー政策課・循環型社会推進室資源循環課	終了年度	概要欄に別記

1. 目的及び目標（値）

<p>府域におけるローカルアジェンダ21（脱炭素・循環型社会形成推進などを掲げた「豊かな環境づくり大阪行動計画」）の推進を図るなど、府民・事業者・行政の連携強化や情報の交流を図りながら、各主体の自主的な環境保全行動を促進する。</p> <p>府においては、環境施策の基本的な方向性を定める「2030大阪府環境総合計画」を策定し、環境・社会・経済の統合的向上や、各主体の取組みの相乗効果を生む「共創」の考え方などを踏まえ、協働・連携促進のための取組みを推進する。また、プラスチックを含めた廃棄物の3Rを推進するため「大阪府循環型社会推進計画」を策定し、国の「プラスチック資源循環戦略」等を踏まえて事業者や府民の新たな取組を促進する。</p> <p>大阪湾の水質改善には、府民一人ひとりの環境意識の向上と行動変革が必要である。このため、特に栄養塩類の滞留等課題の多い湾奥部において、民間公募による環境改善モデル設備試験設置への補助や、当該施設を活用したNPO等との連携によるエコツアーの開催により、大阪湾への愛着を高め、プラスチックごみなどの海ごみ削減等の環境配慮行動を促進する。</p>
--

2. 概要

<p>○ローカルアジェンダ21推進事業（経常的に継続予定） 府民・事業者・行政の連携強化や情報の交流を図りながら、各主体の自主的な環境保全行動を促進するため、「豊かな環境づくり大阪行動計画」等の普及、先進的で他の模範となる環境保全活動に対する補助金の交付、他の模範となるような環境の保全又は創造に資する活動に自主的に取り組んでいる個人、団体、事業者等の表彰を行う。</p> <p>○豊かな環境づくり大阪府民会議運営事業（経常的に継続予定） 府、市町村、府民・事業者の団体の協働により、豊かな環境の保全と創造に関する施策を積極的に推進するため、「豊かな環境づくり大阪行動計画」の策定やローカルアジェンダ21推進事業の企画・実施を行う。</p> <p>○おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議の運営 事業者や行政、NPO、府民の各主体が取り組むべきプラスチック対策を検討するため、有識者や事業者団体、行政等で構成する「おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議」を昨年度に引き続き開催する。</p> <p>○府全域展開に向けた府民啓発 大規模イベントや商店街、大学などで、プラスチックごみ問題に関する啓発パネル等を用いて、マイバッグやマイボトルの常時携帯などを府民に啓発する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>大阪府基金条例 大阪府環境基本条例 大阪府環境保全基金運営要綱 豊かな環境づくり大阪行動計画 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律 地球温暖化対策の推進に関する法律 大阪府地球温暖化防止活動推進員設置運営要綱 循環型社会形成推進基本法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 大阪府循環型社会形成推進条例 瀬戸内海環境保全特別措置法</p>
--

令和2年度 事業報告書

事業名	協働による環境活動の推進に資する事業	新規・継続区分	継続
事項名	同	開始年度	概要欄に別記
担当部署	大阪府環境農林水産部エネルギー政策課・循環型社会推進室資源循環課	終了年度	概要欄に別記

4. 実施内容等

<p>○ローカルアジェンダ21推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府域のローカルアジェンダである「豊かな環境づくり大阪行動計画」を策定し、府民の自主的な活動を促進するため広く普及啓発を行った。 ・大阪府環境保全活動補助金 補助金交付額確定団体：1団体 補助総額：300千円 ・おおさか環境賞 大賞：1団体、準大賞：2団体、協働賞：1団体 <p>○豊かな環境づくり大阪府民会議運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな環境づくり大阪府民会議」の開催 ・学生による環境ワークショップの実施 ・おおさか3Rキャンペーンの実施 ・マイボトルパートナーズの活動 <p>○家庭や企業の省エネルギー行動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化問題の意識向上のため、大阪府地球温暖化防止活動推進員の活動支援に係る業務を行った。「大阪府地球温暖化防止活動推進センター」である大阪府みどり公社と連携して実施しており、地球温暖化防止活動推進員のボランティア活動保険加入費用として措置するなど、家庭や企業の省エネルギー行動推進に資する普及啓発活動を行った。 <p>○おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議」を年2回（6月、9月）開催し、関係者（事業者、NPO、府民、行政）の取組の現状や課題について情報共有し、各主体が取り組むべき内容について意見交換を行った。 ・2020年10月に最終とりまとめを実施 ・メンバー 有識者（2名）、事業者団体（スーパー、コンビニ、飲料メーカー）、NPO、市町村（大阪市、堺市、吹田市、東大阪市、羽曳野市、熊取町）、大阪府（事務局） <p>○府全域展開に向けた府民啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境イベントにおける啓発 啓発回数：5（ロハスフェスタ等の環境イベント） ・プラスチックごみ問題に関する府民にわかりやすい啓発資材（パネル、マイバッグ等）を活用し、環境イベントで啓発を行うとともに、その効果を確認した。 府民アンケート：42枚
--

事業番号

令和2年度 事業報告書

事業名	環境活動を担う人材の育成に資する事業	新規・継続区分	継続
事項名	同	開始年度	—
担当部署	大阪府環境農林水産部エネルギー政策課	終了年度	—

1. 目的及び目標（値）

環境NPO等の活動の活性化や環境活動の担い手を増やすなど、地域の環境保全を推進するための人材を育成する。

2. 概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止した。

3. 根拠法令等

大阪府基金条例
大阪府環境基本条例
環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
地球温暖化対策の推進に関する法律

4. 実施内容等

事業番号

令和2年度 事業報告書

事業名	暮らしやすく快適な都市環境の創造に資する事業	新規・継続区分	継続
事項名	同	開始年度	概要欄に別記
担当部署	大阪府環境農林水産部エネルギー政策課	終了年度	概要欄に別記

1. 目的及び目標（値）

温暖化、ヒートアイランド、再生可能エネルギーの普及に関する対策を実施するなど、府民・事業者・行政が連携しながら、地域における脱炭素・省エネルギー社会を構築していく。

2. 概要

- 温暖化「適応」推進事業（平成29年度～令和2年度）
「適応」の普及に向けた学習会（適応塾）、環境NPO等と協働した地域での「適応」に関する啓発活動、事業者向け「適応」セミナーの開催、「ヒートアイランド対策」の啓発を実施した。
- 暑さ対策推進事業（令和元年度～）
暑さから身を守るための3つの習慣「備える」「気づく」「涼む」を府民に普及するため、環境省が提供している暑さ指数の活用促進等を実施した。

3. 根拠法令等

大阪府基金条例
環境保全基金運営要綱
地球温暖化対策の推進に関する法律
大阪府温暖化の防止等に関する条例
大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
おおさかヒートアイランド対策推進計画

4. 実施内容等

- 温暖化「適応」推進事業
 1. 環境NPOや推進員、市町村職員が、「適応」について理解を深め、コロナ感染対策を考慮した今後の普及啓発手法について検討する学習会を実施（4回参加者合計94名）
 2. コロナ感染拡大防止のため、対面で行う啓発活動を取りやめ、学習会で作成した動画を今後の啓発活動に活用できるようユーチューブで配信（動画本数4本再生回数203回/R3.5時点）
- 暑さ対策推進事業
 1. 可搬式電光表示パネルを活用した暑さ指数等の情報提供
 2. 企業協賛による啓発物品を活用した暑さ対策の取組促進
 3. コロナ感染拡大防止のため、対面で行う啓発活動（セミナー）を取りやめ、ホームページなどで暑さ指数（WBGT）の情報メールの利用促進